

①授業を实践して、成果や課題

「成果」

- 「がん」については生活習慣病の単元で死因の1位であるということを知り、死に関わる病気ということはなんとなく知っていた。ただ、今までは「がん」という名前に触れる中で学んできたにすぎなかった。しかし、今回の授業で「がん」について掘り下げることで正しい知識として学ぶことができたと思う。生徒の中では「2人に1人」がかかる病気であるという知識を学び、がんということを他人事ではなく自分のこととして学ぶことができた。
- 外部講師の方と連携して授業をすることで正しい知識への説得力が増し、生徒の学びにつながった。
- 1時間の中で知識を学びながらも自ら考え、交流する展開を確保することができたことは今後の保健の授業モデルとしては良かったと感じる。

「課題」

- 1つの授業を展開するために、外部講師と連携することなど実際には時間と労力的に難しいように感じる。
- 「がん」について取り上げる中で教科書がない中で何を教えるべきなのかが難しく、全てを網羅しようとする1時間では足りず授業の展開に困った。
- 高校生ということで、社会とのつながりや自分がどう「がん」と向き合っていくかなど考えていくことができる授業にしていくべきであると感じた。

②生徒の感想

- ・今までは身近なものとして考えていなかったけど、説明を通して将来かかる可能性があるから今から知識を身に付けておくことが大切だと思った。
 - ・2人に1人がかかるため他人事だと思わずに予防したり検査したりするようにしたい。
 - ・今まではがんは年をとった人だけになると思っていたけど、若い人でも可能性があると聞いて、今日から若いうちから生活習慣を変えていきたいと思った。周りにもがんの危険性を知らせたい。
 - ・日頃から適度な運動をしたり、バランスの良い食事、禁煙、酒を飲みすぎないようにしたい。
- はやく見つけてはやく治療すれば治るとわかったけど、今の現状では2人に1人がかかって3人に1人が亡くなるのだから簡単には見つからないのかなと思った。
- ・危険性や予防法を知ることができたので今後の生活に生かしたい。

・がんの発生の仕方やそれがどうやって体の中で消されているのかも知れた。がんの知識がほとんどないと知れたので、自分でがんについて知ろうと思った。

・がんのおそろしさを再確認しただ、原因がわかっていないことも多いけど、少しでも自分で予防できるように生活習慣を見直したり将来がんになりやすくなる中、禁煙や節酒に努めたい

・今回の授業を受けるまではがんになったら確実に死んでしまう恐ろしい病気で絶対に治せないというイメージがあったけど、授業を通して、死亡率は高いけど、確実に死んでしまうのではなく、治すことができることがわかった。一次予防や二次予防を通して少しでもがんのリスクを下げられるようにしたい。

・がんは身近というのが意外だった。

・誰にでもなる可能性があると聞いて、他人事ではないとわかった。少しでも予防できるように日頃の生活習慣を気をつけたり、将来大人になったら、定期的な検診もしていきたいと思った。家族とも話し合ったりしていきたいと思った。

・がんは誰にでもかかる可能性があり、3人に1人が亡くなるときいて驚いた。自分がかからないとおもわずに生活習慣を見直したい。

・私は健康だから大丈夫だろうと思っていたけれど、2人に1人ががんになる可能性があることを知って、他人事ではないと思った。がんは禁煙することや普段運動をしっかりするなど、身近な生活習慣から少しでも予防できることがわかったので、意識していきたい。また、親など家族にも健康でいてもらいたいので、いろいろ話してみたいと思った。

・早期発見早期治療が大切だとわかった。

・早く見つけることでがんが治る割合が大きいことがわかったので自分で検診が受けられる年齢になったら受けたい。細胞の修復するところが修復されなかったりし、がんになることが知れて、がんがどうやってできるかわかってよかった。

・僕の周りにも喫煙している人がたくさんいるし、家族なんかは飲酒もたくさんしていてアルコール摂取量がすごく多い、少しでも長生きしてもらうためにその人たちを注意したり、たばこの本数を少なくするように心がけたい。

・がんについては今までも話を聞くことが多かったけど今回は自分たちで調べながら学ぶことで予防の仕方を良く知れた。

・がんは長生きすればするほどリスクは大きくなる中で、自分たちにもかかるリスクがあることを知り、日々の生活習慣など変えられるところから変えていきたいと思った。

・がんは日本の死因第一位の病気でありながらも人々の意識が低くなっていて、2年に一度での検診では50%の人しか受けていないというのを知りました。この現実を受け止めて、毎日の生活習慣の見直しや大人になった時の検診を気にかけて生活していきたい。

・最初は少し怖い印象の方が強いところがあったけど、授業を受けてみて、生活習慣の見直しや食生活などを改善するだけでも予防につながるということがわかったので気をつけて生活していきたい。

・自分にはあまり関係ないものだとおもっていたけど、他人事ではないと感じた。たばこは吸わないと決意した。

・検診を受けて自分の命を守っていくことが大切だと思った。また、今症状が現れていなくても何年か経ったらでてきてその症状が大きいほど命の危険が高いのでおそろしいとおもった。

・自分が一生健康で過ごしていく為に大切な事を多く学べた。がんがどのようにしてできるか疑問に思っていたが、原因がわからないこともある怖いと思った。ただ、生活習慣を見直すなど自分でできることもあるので少しでも生活を見直して健康に過ごしたい。

・今までよりも詳しく知ることができた。自分の先祖はがんになった人が多いので遺伝がこわかったけど普段の生活習慣を規則正しくして健康な体づくりをしたい。

③外部講師との連携

「授業に向けて3回打ち合わせを行った。」

○第1回目：大垣市民病院での打ち合わせ。

・今後の見通しや流れについて確認。

○第2回目・大垣市民病院での打ち合わせ。

・指導案の確認。保健の授業の在り方や目標などを共有した。授業の一環として実施するため、指導要領での保健の位置づけや学校の授業について説明しご理解いただいたうえでT1、T2で授業を行っていくことを確認。特に、保健の授業の中で身に付けさせたい力などがあり、指導要領に基づいて授業を計画していることなどを確認した。(医師の方は「がん」についてどう世間に広げていくかを考えているが、学校ではそれだけではなく、様々な要素が絡み合っているため「がん」という教材を使って、どのような力を身につけさせるかという視点なども共有。)

○第3回目：メールにてやりとり

指導案の修正や当日のパワーポイント、医師の方に搭乗してほしい場所を記したタイムスケジュールなどを確認した。